



防災・減災活動は地域から

～防災士を活用した宮崎県の地域防災力向上の取組について～



宮崎県NPO法人宮崎県防災士ネットワーク
理事長 原口 重徳

1 ネットワークの誕生

宮崎県を襲った平成17年の台風14号や翌18年の竜巻被害を契機に、故猪狩信浩氏を会長として、平成19年5月26日に、県内の防災士32名により宮崎県防災士ネットワークを設立。この時県北・県央・県西の3支部を置きました。

平成26年4月に法人化し「NPO法人宮崎県防災士ネットワーク」として県内に9支部で活動しています。

現在、県内26市町村を網羅する10支部を配置し会員数も約1,000名を数えるほどになりました。

2 活動の基本理念

広く住民を対象として、幅広い防災啓発活動を実施するとともに、平常時における地域の防災力向上のため、地域に根差した防災に関わる人づくり、防災士のスキルアップ、災害時における住民への支援活動に取組む防災士の支援を通じて、減災文化を創造し、地域連携交流の強化や防災・減災に関わる人材の育成、防災・減災の普及や啓発活動を行うことを基本理念としています。

3 活動の概要

宮崎県からの受託事業「防災士養成研修」、「防災士出前講座」を中心に、支部ごとに市町村と連携して、防災訓練、防災イベントのほか、防災会議等に参加しています。その他、社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの運営訓練参加や、災害時には災害ボランティアへの協力などを行っています。

また、近年ではマスコミを通じて防災啓発な

ども行っています。

4 講座の実施

ネットワークでは、広く住民を対象に、「宮崎県防災士出前講座」として、地域住民はもとより、学校（幼稚園、児童館含む）、障がい者団体、福祉・医療施設、企業などからの申込を受けて、○自然災害についての基礎講座、○家具固定に関する基礎講座、○地域の地図を用いた図上訓練、○避難所運営ゲームを用いた防災学習、○まち歩きによる身近な危険個所の確認、○避難所運営訓練、○子ども向けゲームや紙芝居を使った防災講座、○ペットに関する防災講座、○家庭の防災・減災対策や備えなど幅広い内容で、防災士が各地へ出向き講座を行っています。

5 防災士の養成

平成20年度に宮崎県が認定NPO法人日本防災士機構から、防災士養成研修機関としての認定を受けたことから、研修のスタッフとして参加しながら、平成26年度からは受託事業として、ネットワークが運営を担うことになりました。

現在、県の目標『防災士1万人』を目指して養成に取り組んでいます。

6 防災士のスキルアップと地域への参加

防災士のスキルアップ及びフォローアップとして、災害図上訓練（DIG）、避難所運営ゲーム（HUG）、応急手当研修、南海トラフ臨時情報セミナー、ロープワーク、出前講座講師養成研修などの実施により、スキルの向上を図っています。



砂防ダム見学会



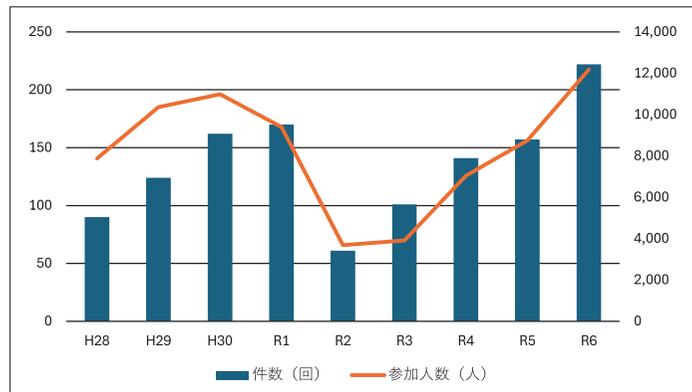
防災士出前講座



児童クラブへ出前講座

令和6年度防災士スキルアップ研修実績

実施日	実施支部	内 容
令和6年7月27日	日向東白杵	講師養成研修
8月10日	宮 崎	福祉施設のBCP
11月23日	延 岡	南海トラフ臨時情報セミナー
12月7日	宮 崎	南海トラフ臨時情報セミナー
12月22日	宮 崎	講師養成研修
12月22日	宮 崎	多様性視点のHUG研修
令和7年1月19日	西 都	DIG研修
1月25日	児 湯	クロスロード講習会
1月26日	日 南	南海トラフ臨時情報セミナー
2月8日	宮 崎	ロープワーク
2月9日	日 南	講師養成研修
2月9日	日 南	マイタイムライン作成会
2月13日	日向東白杵	ロープワーク
2月16日	西 諸	避難所運営とペット同行避難
2月22日	串 間	応急手当
2月26日	延 岡	災害時のトイレ問題
3月2日	宮 崎	講師養成研修
3月2日	宮 崎	NHKによる命を守る呼びかけ
3月23日	西白杵	防災グッズを作ろう



出前講座の推移

防災・減災の普及として、地域（自治会）や行政主催の防災訓練やイベントにも積極的に参加して、防災パネル展示・非常持ち出し品や備蓄品の展示、防災相談などに取組んでいます。

7 災害への備え

防災は人づくり、自助と共助（近助）が大切であり、ネットワークでは地域に根差し防災に関わる人づくりに取り組んでいきます。普段の地域でのふれあいづくりが、災害時だけでなく、今後ともますます重要になります。